

学校法人東京女子大学2026年度事業計画

A. 教育

1. 2024・2025年度教学改革における教育目標の実現に向けた取り組み

(1) 全学共通カリキュラム改革による、リベラルアーツ教育の展開

A 「知のかけはし科目」の発展 ―学際的学修の進化―

- 学生の主体的・探究的学修を促進する教育方法の充実
- 教育の質保証と学生の意見を踏まえた科目内容の点検・改善

B AI・データサイエンス教育の充実 ―情報社会に必須の基礎学力を習得―

- AI・データサイエンス教育の全学的学びの推進と実践的能力の育成

C グローバル教育の進化

- 「英語を」ではなく「英語で」学ぶ英語教育
- 「英語」を持続的に学ぶ環境の充実
- 「Global Citizenship Program (GCP)」による高度な英語運用能力を有するリーダーシップを備えたグローバル人材の育成
- 「CLIL (Content and Language Integrated Learning) Project」の充実

(2) 再編成した現代教養学部「1学部6学科」体制の実施

- 学科間連携による分野横断的学修の実質化
- 各学科の教育理念および到達目標に基づくカリキュラムの点検・改善
- 学科再編の中間的評価の実施と次期教学改革に向けた課題の整理

2. 大学院の取り組み（博士前期課程・博士後期課程）

- 2025年度の学部改組を踏まえた、大学院教育の一層の充実
- ダブル・ディグリー・プログラムの実施
- 学士・修士5年プログラムの周知

3. 教育の質保証の取り組みの推進

- 各種FD研修、また学生が参加する教育の質保証の取り組み（「学生による授業評価」アンケート、「学生による授業評価」に関する検討会、学生参加型FD）、教員相互の授業参観、新任教員サポート制度等。教員による教育の質保証の取り組みの強化。
- ティーチングポートフォリオを活用した教育力の向上

4. 内部質保証体制の強化

- 恒常的なマネジメントサイクルの確立
- 第4期認証評価に向けた内部質保証システムの実質化

B. 研究活動の推進

1. 研究所等における研究活動

(1) 比較文化研究所

- 個人研究・総合研究・国際共同研究の助成
- 海外の研究機関（研究所・センター）との協定締結
- 公開講演会、ティー・レクチャーの開催
- 蒐書－コレクションを補完・充実、デジタルアーカイブの公開

(2) 比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター

- 丸山文庫バーチャル書庫・草稿類デジタルアーカイブの運用
- 講演会、公開研究会の開催

(3) 女性学研究所

- 共同研究・個人研究の助成
- 講演会、シンポジウムの開催
- 多様な「女性」を理解するレクチャー・シリーズ「Woman's Café」の実施

2. 研究推進

- 研究活動活性化に資する競争的資金（科学研究費助成事業等）の申請支援・採択率の向上
- 公的研究費の適切な運用・管理及び研究倫理の啓発

C. 学生の受入れ

1. 入試制度の見直しと学生確保の安定化

- 総合型選抜の拡充及び一般選抜の改革
- 本学の教育理念を体現する意欲ある学生の確保

2. 高大連携の強化

- 高大連携校との共同プログラムの質の向上に注力し、継続的かつ密接な協力体制を構築。
- 高大連携校を対象とした単位認定型の先取り履修科目の提供

3. 入学前教育の充実

- 初年次教育と連動する形での学修支援を通じ、大学での専門教育に必要とされる基礎力とリテラシーの醸成。

D. 国際化の推進

1. 海外派遣プログラム参加促進

- 協定校留学、トビタテ！留学 JAPAN プログラム、短期語学研修の参加者促進

- 留学ファシリテーターによる留学相談など学生のニーズに合わせた留学相談体制の充実。

2. 協定校開拓・表敬訪問等

- Global Citizenship Program (GCP) の開始に伴う英語圏の協定校の開拓
- アジア圏や、社会科学系の分野に強い北欧地域の協定校の開拓
- 交換留学協定締結に向けた本学での留学生受け入れ体制の検証

3. スタディ・ツアーの実施

- 本学教員による短期の海外体験の機会を提供するスタディ・ツアーの実施
- 訪問先での交流など、学生の国際的視野の拡大に資するプログラムの充実

4. 国際社会学科海外研修

- 国際問題の内容や解決のあり方をリアリティをもって学ぶ、新設科目「海外研修」(タイの協定校シーナカリンウィロート大学との学生交流、少数民族訪問)の開講。

5. 第8回タイ・ワークキャンプの開催

- 本学のSS(犠牲と奉仕)精神と多文化共生社会への対応を实践を通して学ぶため、タイのメーコックファーム(山岳少数民族の子供達の施設)でのワークキャンプを実施。

E. 学生支援

1. 学生生活支援

(1) 学生の活動支援

- 学生の自主的な活動(学生自治会、大学祭実行委員会、サークル活動、寮生委員会など)の支援。
- 支援を必要としている学生へのサポートと学内連携の充実(学修、生活、就職)

(2) 経済支援(奨学金制度)

- 本学独自奨学金(給付奨学金、研究奨学金など)、国や自治体の制度(高等教育の修学支援新制度、貸与奨学金など)、民間団体奨学金を組み合わせた学生のニーズに合致した経済支援。
- 学業中断に至らないセーフティネット(相談体制や緊急採用など)の運営

(3) 学修ポートフォリオの運用

- 学修ポートフォリオによる個別学生ごとの学修状況などの可視化
- サブシステムとして正課外活動(サークル活動、アルバイト、ボランティア活動など)や就職活動での活用促進

(4) 学生相談室における青年期の学生の成長支援

- 多様化、複雑化している背景を持つ学生の増加を受けた関係者、機関との有機的な連携
- 予防教育的な心理教育プログラムの企画、実施
- 相対する教職員への研修、コンサルテーションの実施

(5) 新入生歓迎リトリートの実施

- 建学の精神を学び、教職員および新入生同士が寝食を共にして学科を超えた関係を構築

(6) 国際学生寮の展開

- 旧北寮を改修し、新たな国際交流の拠点となる国際学生寮のハード面・ソフト面の整備 (2027年オープン予定)

2. キャリア支援

- 有名企業への橋渡しに努め、有名企業 400 社就職実績女子大学 3 位や就職率 99%以上が続いている高い採用実績の継続
- キャリア・カウンセリング支援体制の維持・発展 (就職活動の早期化・長期化・多様化(複雑化)への対応)
- オンラインと対面の支援の効果的な使い分け
- 生成 AI 等の最新技術を生かした支援の DX 化の推進
- 多様な年次・対象に対応した就活支援行事の充実 (低学年の学生への支援の見直し)
- 留学生の就職支援強化

F. 社会連携・地域貢献

1. エンパワーメント・センター事業の推進

(1) リカレント教育事業の推進

- 2025 年度に文部科学省の補助金を受けて試行版を開始したリカレント教育事業「東女リカレント」の本稼働

(2) キャリアに関するエンパワーメント事業

- 卒業生対象個別キャリア・カウンセリングの実施等

(3) 同窓会・卒業生との連携

- 同窓会、卒業生との連携による出張エンパワーメント・センターや、園遊会での企画参加、各種イベントの実施

2. 近隣の地方自治体との連携

(1) 公開講座・講演会

- 本学の知的資源を活用した各種の公開講座や講演会などの実施。地域の方をはじめ多くの方々に生涯学習の機会の提供。

(2) 心理臨床センター事業

- 相談事業：学内の実習機関ならびに地域における心理相談施設の運営
- 研修・研究事業：公開講演会、大学院在学ならびに修了生と研修の場として拡大カンファレンスの開催
- ネットワーク事業：杉並区と協力「発達障害児地域支援講座」の実施

(3) 近隣の大学や地方自治体との共同事業等

- ▶ 地域のニーズを捉えた、杉並区、武蔵野市、三鷹市との連携による講座の開講、オンライン講座の企画、各種事業等への協力、講師の派遣。

(4) 企業との産学連携の活性化

- ▶ 企業との連携協定に基づく、デジタルヒューマン技術の導入
- ▶ 数理・データサイエンス・AI 教育の普及および社会貢献の推進を目的としたイベントの開催

3. 女性の活躍のためのキャリア構築支援

- ▶ 高校生以上の女性を対象にした起業コンテスト「東京女子大学ビジネス・プランニング・コンテスト」の開催。応募者増加に向け「東女サマースクール」の実施。
- ▶ 社会人のビジネススキル向上のための講座の開講

4. 同窓会・卒業生との連携強化

- ▶ 同窓会との協力体制の構築
- ▶ 大学として卒業生に向け継続的な情報発信。連携を強化するための仕組みづくり。

G. 広報の強化

大学のブランディングにかかわる大学広報とブランディングに裏打ちされる安定的な志願者確保に向けた入試広報の展開

- ▶ 「リベラルアーツ教育の東京女子大学」のイメージの浸透、競合大学との差別化
- ▶ 新しくなった学科体制の特色や強み、本学での学びの魅力や強みの積極的な訴求
- ▶ ウェブマーケティングや高校生との接触機会（オープンキャンパス、高校訪問など）を通じたナーチャリング（見込み顧客の育成）施策の充実
- ▶ 高校教員、保護者、受験生との関係強化
- ▶ 公式サイト、公開動画の充実、SNS の活用の継続

H. 教育研究環境

1. 教育・学修支援センターの活動

- ▶ ICT（情報通信技術）を活用した授業方法や学修方法の提案およびそれに資する調査・研究の推進
- ▶ 学生を対象とする学修における ICT 活用の紹介と実践の場の提供
- ▶ 教員を対象とする ICT を活用した高度な授業方法（反転授業等）の紹介・実践の場の提供
- ▶ ICT を活用する「知のかけはし科目」や教室外での学びを支援する LA（ラーニングアシスタント）の制度運用及び技術力向上のための支援

2. デジタル化戦略

- デジタル技術を活用した教育支援体制の高度化（e-learning の強化、学修ポートフォリオの導入並びにハイフレックス授業の環境整備など）と授業に関するサポート体制の充実。
- グループウェアを活用した教職員間の情報共有の円滑化、意思決定の迅速化
- ペーパーレス化を進め、環境保全・SDGs 活動を推進。

3. 教育研究関係設備の整備

- 学内無線 LAN 環境の整備
- アクティブラーニング教室やラーニングコモンズの整備
- クラウドサーバ、リモートアクセス環境の更新
- AI チャットボットの導入
- 教職員を対象としたセキュリティ教育の実施

4. 図書館

- 電子書籍やオンラインデータベースなどの電子資料の拡充・利便性の向上
- 学習・研究スタイルやニーズの変化に対応した学修支援機能の充実
- 読書推進（学生の視点を生かした収書、学生アシスタントとの協働企画など）
- ラーニングコモンズの効果的な運用体制の整備
- オープンアクセスへの対応（機関レポジトリの活性化、研究成果の学外発信など）

5. 施設管理・キャンパス整備

- 最先端の ICT 機器を備えた教室やグループワークに適したセミナールーム、学生同士が交流しながら学べるオープンスペースなどを整えた新しい建物を 2027 年度に開設
- 1 号館（事務棟）の空調改修による省エネ性能の向上、故障リスクの軽減、快適な空間の維持

I. 管理・運営

1. 組織・運営体制の強化

- グループウェアを活用した学内の業務のデジタル化の推進
- 組織運営、業務の効率化を主眼とした、部署間の連携強化、情報共有の促進
- 大学が抱える課題について、認知力、解決力の向上を図り、大学運営・教職協働を担う教職員の育成
- 限られた人的資源を有効活用するため、戦略的な人材育成を行うことを目的とした研修制度の見直し
- 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づく、活躍できる人材の育成
- 女性のみならず教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現。育児・介護支援制度の利用の促進
- 内部統制システムの整備

2. 経営基盤の強化

- 変化する世の中を見据えつつ、長期的な展望に基づく大学経営
- ガバナンス体制、管理・運営体制の強化
- 教育・研究活動の一層の活性化を目指した予算編成
- 経営の適正化。教育・研究の向上に不可欠な投資の継続な実施
- 健全な財務基盤の構築を進め、事業活動収支の均衡化
- 資金運用の高度化による財務経営基盤の強化